

旅と絆

株)センターツーリスト
「旅行友の会」会報
第29号(新年号)

発行責任者 古久保 暢夫
2010年1月6日発行

青春の旅

熊井三郎

蘇州の旅での晩餐会

喜寿を迎えたMさんが挨拶に立つ

青春とは年齢じゃない と Mさんは言う

希望に燃え

実現めざしてがんばる

その生きざまを青春と言うのではないでしょうか

私は生涯青春でありたい

席に戻りMさんは楽しそうに紹興酒を傾けた

そう 人間希望を見失わない限り

胡同の店先で草魚をぶつ切りしている若い女の 青春

アフガンの銃の前で眼を光らせている少年の 青春

辺野古で座り込みを続けるおじいおばあ の 青春

ぼくの 青春

あなたの 青春

日本の 世界の 青春

2010年 新たな夜明け

ぼくらは飛び立つ シートベルト固く

希望の空へ 海へ

青春の旅へ

(詩人会議会員)

開聞岳(写真提供=近西治氏)



明けまして おめでとうございます



変革の予感

新年明けましておめで
どうございませす。

思うようには進みませ
んが、国民の力で、世
中が大きく動き始めて
いることを実感させる
年明けです。たしかな
平和を求めつつ、今年
もまた楽しい旅作りに
力をあわせ、1000
名の友の会員達成の年
にしたいものです。
ひきつづきのお力添
えをよろしく願ひい
たします。

2010年元旦
旅行友の会
会長 古久保暢夫



友の会恒例忘年ツアー —蘇州・同里・無錫—

《山田紘三》

新世紀大酒店の料理は今一でした。緑色広場酒店の方が食事は良かったし、外の料理店の方が味はよかったです。

《Sさん》

前回ベトナム、今回(中国)は2回目(忘年会は初めて)。内容も充実していて家族的な雰囲気です。誰でも気軽に話ができる「だからセンターツーリスト」と実感しています。

《上村 久喜》

毎年、恒例となった格安のセンターツーリスト友の会主催の忘年ツアーは今年も12月7日から無錫旅情、蘇州夜曲のうたごえに誘われて現地を旅することとなりました。

一班38名、二班16名は9日、蘇州に合流。坂倉さんの司会で進められた宴会はゲームに歌にと年を忘れさせる内容。

笑いに笑って、シワをふやした感じの忘年会となりました。1500年前の歴史をとどめる運河と街並み。来年の世界万博のために急ピッチで進む上海の都市化、新旧取り混ぜての中国の顔垣間見た旅でした。

参加された皆さん本当にご苦労様でした。来年もまたお会いしたいものです。



合同懇親会でのゲーム遊び

『元気でしなやかに人間らしく』

“旅”をしたい・・・<その3>

※いきいき元気お手伝いマン 桜井市・辻野忠男さんのシリーズです

「大股で、地面を蹴るように」のウォーキングは、運動慣れしていない人には「危ういこと」です。

人はお尻で歩く動物(馬は「太もも」走り動物)です。(サル時代の)木登り用の筋肉で、両側から押さえる様に発達しました。よって地面を踏みしめるように歩くべきです。ヒヅメもないのに、「蹴り足」では体を痛めるだけです。

股関節の硬い人が大股で歩くと、(重心移動ができず)バランスを崩し、ひざや腰を痛めます。

人の足(足首から下)は、3つの大きな特徴があります。

①「大きなかかと」(足偏に重いと書く)立ち足で、ここですっかり立てば、ひざがぶれません。

②「土踏まず」アーチ型の足は、クッションになり、(地面からの)脳への刺激を和らげます。

③「まっすぐ前を向いた五本指(趾)」急に止まったり、方向転換のための指です。ここで地面をつかむような「爪先立ち」は、腰痛や肩痛の原因になります。

歩くことは前に進むことです。かかとで着地し、土踏まずに沿って体重を前に移動させ、五本指(趾)をしっかりと伸ばして歩くようになっていくのです。

(つづく)

「いきいき元気お手伝いマン 桜井市・辻野忠男」



大湖遊覧

あんなとこ
こんなとこ

旅の余韻

旅の余韻・余韻・余韻・余韻

親子連れで参加

《丹羽きみえ》

今回初めての海外旅行で、その上、親子連れであつかましながら重ね重ねお世話になりました。皆様の心配りで無事に忘年ツアーを終えることができました。ありがとうございます。ありがとうございました。

中国の社会・文化を感じる事ができ、日本人であることを嬉しく、又少し複雑な気持ちでした。日程としては中国の表と裏を体験できるツアーで意味深いものだったと思います。

二泊三日程度のツアーくらいが個人的には無理なく参加できそうかな。



真珠見学

東京から

参加しました

《田口 誠雄》

東京から参加したと言っただけで熱い歓迎をいただき恐縮しています。今後いろいろなツアーが計画されているとのこと。機会があれば参加したいと思えます。

今回、貴州省に行かれた方とはお会いできませんでしたが、近西さんをはじめ、皆様と楽しい4日間を過ごさせていだきましたので満足しています。



運河

ます。

関西の方々のお話と芸達者には感心しました。「観光地巡り」より印象に残りました。

会員数900人とは驚

きです。役員さんのご苦労は大変なものがあろうかと思いますが、友の会が益々発展することを祈念いたします。

4日間、ありがとうございます。ありがとうございました。

すばらしい思い出＝運河と夜景めぐり

《Mさん》

今回の友の会の忘年ツアーは、いつもながら和気あいあいと、巷の格安ツアーが目白押しの中で安心とやさしさに包まれて心ゆくまで楽しめた旅でした。

オプシヨンの運河・夜景めぐりは、川面に映える光が

幻想的で灯籠流しの様でもあり、初めての体験ですばらしい思い出になりました。また、最終日には上海の裏の部分も少し見れ、次回訪れる時は万博で取り壊された町並みを散策できるかな。

リュウさんはじめ添乗員の清野さんの心配りに対応に心より感謝します。また、機会がありましたら参加したいです。



写真部発足後の懇親会

写真部会発足

11月24・25日、写真部発足総会と記念撮影会には11人(女性4人)が参加。

総会では、「写真を通じて、親睦と友好を深め、お互いの写真撮影技術の向上を計る」、「旅、ハイキング催行に同行し、撮影や撮影の助言、アドバイスに努める」、「友の会総会会場で写真展を開催」などを確認。役員は、永柳雅英氏ら17人を選出。

宴会後、持ち寄った写真を囲み、深夜まで和やかに合評会。翌日は、パーク内で撮影。部には、「プロ級の方もおられ、腕前があがるのは間違いなし」と入会をよびかけています。例会は隔月に予定。

今回は、2010年2月24日～25日(1泊2日)
撮影場所は奈良(東大寺・奈良公園)

編集長の コーヒーブレイク



昨年の忘年ツアー時、無錫の女性ガイドは客を笑わせることでは秀逸だった。「私はアラフォーで45才です」と自己紹介の後、中国で夫として求められる条件を牛・犬・羊・豚・鶏の5つの動物に例えて紹介。

その1、牛のように黙ってよく働くこと。(馬は暴れることもあるからダメ)

その2、犬のように忠実であること。

その3、羊のようにおとなしいこと。

その4、豚のように残りをよく食べること。

その5、鶏のように早く起き、朝ご飯の準備もする。

中国でも女性の社会進出がめざましく、「強くなった」ようだ。

「え～っ！ その5つの条件は僕にもピッタリ！！」

夢のような銀世界

奈良にいなながら、曾爾村は遠い存在。そんな折の日帰りのツアー。曾爾高原のススキは幻想的な銀世界をつくりだし、ススキの道を歩いて丘に登ると奥深い山並みに、「鐘岳」、「兜岳」が見え、絵になる景色でした。お弁当はおにぎりやそば、チーズとソーセージだけかなり不評でした。私がつくったわけではありませんが奈良県民として皆様にあやまらねば……。最後はお亀の湯でホッコリと。日帰りツアーを楽しみました。

白銀の世界に魅入られて

飯尾まさ子

やっと実現！

片山悦子

一度は訪れたいと思っていた曾爾高原。やっと実現できました。一面のススキの原、キラキラ光る穂がなんとも優しく迎えてくれました。お亀池から亀山峠へ。そして亀山の頂上へ。途中、岩場で一步、一步足を確かめて登ったり、下ったり。汗びっしょりです。渡る風が気持ちよく、久しぶりにハイキングを楽しめました。足の怪我のリハビリの仕上げが出来たようです。全快祝いは温泉。入浴後の帰路のバスの中の缶ビールで乾杯！楽しい、楽しい一日でした。

山部会のお知らせ

新緑の上高地ハイキング

自由散策3～4時間コース

日程 2010年6月7日(月)～8日(火)

費用 25,000円

※詳細は旅の絆“春号”で紹介

2010年度友の会総会ご案内

日時 2010年4月3日(土)10:00～

場所 第一部 繁昌亭落語会

第二部 大阪グリーン会館2階会議室

①年次総会と

②繁昌亭支配人(恩田雅和氏)の講演